

会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 21 年 6 月 22 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 50 分
会議名	塩田地域協議会(平成 21 年度第 3 回)		
出席者	委員 17 名(欠席者 3 名)		
事務局 出席者	出席職員 神林センター長 古川センター長補佐兼庶務企画係長 細川塩田公民館長		

会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 札所めぐりの講演会については、反響があり問い合わせも多くいい感触である。ため池百選については、行き違いがあったが素晴らしい自然環境の中で活かしていきたい。塩田中学校 1 年生の地域めぐりには、多くのボランティアの協力をいただき活発な活動が出来てよかった。

3 協議事項

- (1) 上田市表彰審査委員会委員の推薦について(担当課：塩田地域自治センター)

説明要旨	<p>上田市表彰審査委員会委員の推薦について説明</p> <p>ア 審議会名 上田市表彰審査委員会</p> <p>イ 人 数 1 人 (塩田地域競技会)</p> <p>ウ 主な任務 市の功労表彰及び市のシンボルに関する事項について、市長の諮問に応じて調査審議をする。</p> <p>エ 期 間 委嘱の日から 2 年間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩田地域協議会の代表としては、大口会長を推薦したい。
主な質疑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塩田地域協議会代表の委員は、大口会長が適任である。 ・ 他に賛同に意見
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田市表彰審査委員塩田地域協議会代表の委員は、大口会長に決定した。

- (2) 「ため池」百選の候補への応募について(担当課：「ため池」検討委員会)

説明要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産省ため池百選応募要旨の記載項目に基づき説明。 ・ 地域協議会では、以前ため池サミットの開催について意見書を出した経過があるので、ため池百選も塩田一本で行きたい。
------	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良区の事務局とは協議をしてあり、その結果 4 水系を通して全体で動いていくことを確認している。
<p>主な質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募に当たって準備を進めてきたが、単体ではなく「郡」として名称付けた。所在地は、舌喰池の地番を代表とした。 ・ 手塚では、独自に舌喰池について応募する準備をしていた。名前のある池は 41、名前のない池が約 200 ある。 ・ 塩田は、かんばつ地帯であり全体で一括応募できないものか。 ・ 富士山地域は、富士山地域だけで応募してしまった。塩田全体で一本として応募するのであれば、調整が必要であった。 ・ 塩田全体で応募するのであれば舌喰池の名称は気になる。名称の付いているため池は東塩田に 18、中塩田に 12、西塩田に 10 別所温泉に 1 あるので。 ・ 名称の付いたため池が 41 もあるので、「郡」で応募するなら「ため池郡」と思う。 ・ 舌喰池だけが突出してしまうので、他の池に関係する人たちの気持ちも考えなくてはならない。 ・ 「郡」となれば固有名詞はおかしいので、舌喰池は入れないほうが良い。 ・ 説明には、水を必要とするからため池を作った歴史を加えて欲しい。
<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県との協議では、単独の応募よりも郡の方が価値が高いとしていた。市としても郡でお願いしたいとしている。 ・ 応募に必要な資料は、手塚自治会で準備したものを借用したので、名称を舌喰池とした。
<p>決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募にあたり名称は、塩田平ため池郡として、6 月中に応募することとした。
<p>(3) 学校支援地域本部事業の進捗状況について (担当課：塩田公民館)</p> <p>説明要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩田中学校の 1 年生が、実施した地域とのかかわりに関する授業風景のビデオ鑑賞。 ・ 学校支援地域本部事業における環境ボランティアは、39 人の登録で人手が不足しているので協力をお願いしたい。

主な質疑

- ・ 地域とのかかわりに関する授業において、当日現地で説明した人の話として、授業に参加した生徒から礼状が届いて感激したとの話を聞いた。
- ・ 気をつけることとして、大人が手取り足取りやってやる方が良いものか。学校支援地域本部事業の本質をしっかりとわきまえる必要がある。本当の支援とは何かをしっかりと考える必要がある。子どもを甘やかしてはいけない。子どもたちの企画も必要である。大人が深く考えて接しなければいけない。

回答

- ・ 草花への水遣りなどは、子どもが主体で人手の不足する分を応援している。

(4) その他

ア 地域の課題について

舞田及び下組地籍の廃棄物を取り巻く環境問題などについて、住民として関心を持ってもらいたい。(委員意見)

4 その他
特になし

5 閉会